

投 稿 規 程

1. 資 格

投稿に関し筆頭著者、責任著者 (corresponding author) は少なくとも本会会員であることを条件とします (その他の共著者は会員外も可)。

2. 投稿締切

投稿原稿は随時受け付けます。

3. 投稿内容

- 1) 本誌に掲載される原稿は他誌に未発表のもので、健康教育学の進歩に寄与するものとします。
- 2) 原稿の種類、内容、制限頁数 (字数) は、表1の通りとします。最適と思われる原稿種類を選んで下さい。刷り上り1頁は1,716字相当とします。
- 3) 本誌には上記原稿のほか、年次学会案内、会務報告、委員会報告等を掲載します。
- 4) 投稿原稿は、原則として日本語または英語とします (英文論文の投稿規程は、本学会ホームページ上の Instructions for Authors を参照下さい。ただし、日本語を理解できる著者が英文論文を投稿する際は、投稿票、著作権委譲承諾書、利益相反開示書は日本語版をご利用ください)。
- 5) ヒトを対象とした生物医学的研究については、原則、倫理委員会の承認を得ているものとします。「実践報告」はこの限りではありませんが、ヘルシンキ宣言および疫学・臨床研究指針など研究倫理に関する指針を厳守したものとします。

4. 査 読

本誌は、ピアレビュー・ジャーナルです。上記の「論壇」「総説」「原著」「短報」「実践報告」「特別報告」「コメンタリー」の原稿は査読審査後、アクセプトされた場合のみ掲載が決定されます。また、著者の氏名および所属を伏せた上で、少なくとも2名が査読にあたります。

5. 投稿手続き (投稿は原則電子投稿とします。ただし、郵送も受け付けます)

電子投稿の場合

- 1) 原稿は、「投稿票・表紙 (抄録を含む)・本文・図表写真」の順にまとめて下さい。すべての書類を1

表1 原稿の種類、内容、制限頁数

種 類	内 容	制限頁数(刷り上り)
論壇 (Perspectives)	理論や実践等についての提案・提言	4 (1,716字×4)
総説 (Review Articles)	先行研究の総括、解説	7 (1,716字×7)
原著 (Original Articles)	独創的な研究論文・科学的観察	7 (1,716字×7)
短報 (Short Communications)	原著論文の短報、技法・手法の改良に関する論文	5 (1,716字×5)
実践報告 (Field Reports)	健康教育活動に関する報告	7 (1,716字×7)
特別報告 (Special Reports)	学術大会の講演内容など (主として依頼原稿であり、投稿は受け付けません)	6 (1,716字×6)
コメンタリー (Commentary)	掲載論文に対するコメント (主として依頼原稿であり、投稿は受け付けません)	2 (1,716字×2)
その他 (Others)	書評 (学術書に限る)、会員の声、レター (掲載論文に対する意見)	1 (1,716字×1)

注) 字数には、本文、和文・英文抄録、図表写真、文献を含みます。図表写真は、掲載論文を参考に字数換算して下さい。なお、制限頁数を超える場合は、超過頁の印刷実費 (10,000円/頁は著者の負担とします (投稿規程「6. 投稿原稿の取り扱い」を参照下さい))。

- つまたは、複数の PDF 書類あるいは WORD ソフト等で作成して下さい。英文抄録は採用の通知を受けた後、プロによる英文編集を受けてから、最終原稿とともに速やかに編集事務局に提出してください。
- 2) 「投稿料」は不要です。ただし別刷り作成にかかる経費は著者の負担とします。経費一覧はホームページに記載しています（本ページ最下段にも記載）。
 - 3) 別添「チェックリスト」（ホームページからダウンロードが可能です）を記入し、E-mail にて添付して送付して下さい。
 - 4) 別添「著作権譲渡承諾書」および「利益相反開示書」（ホームページからダウンロードが可能です）を原稿投稿時に作成し、PDF にして E-mail で送付するか、あるいは、ファクスで提出して下さい。

郵送の場合

- 5) 紙媒体を郵送する場合は 1), 3), 4) をまとめて、配達記録郵便など配達を確認できる方法で、下記に送付して下さい。

〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田3-9-21 女子栄養大学食生態学研究室内
 日本健康教育学会事務局 担当：土屋 文
 Phone : (049)283-2310 FAX : (049)282-3721 E-mail : j-nkkg@eiyo.ac.jp

6. 投稿原稿の取り扱い

- 1) 原稿の採否は、査読を経て編集委員会により決定されます。採用の際には、原稿（表紙や図表を含む）を電子データで提出していただきます。なお、編集委員会の判断により、原稿種類の変更をお願いする場合や修正を求める場合があります。また査読が3回に達したときには再投稿をお願いすることがあります。
- 2) 修正に応じ再投稿する場合には原則として1ヶ月以内に行ってください。3ヶ月以内に再投稿がない場合には、投稿を取り下げたものとして扱う場合があります。修正原稿の再投稿では、修正原稿にあわせて、査読意見に対する回答も提出下さい。なお、査読意見は、必ず従わなければいけないものではありません。査読意見に従わない場合、その理由を査読意見に対する回答に明記下さい。
- 3) 著者校正は初校のみとします。この際、原則として誤字・脱字以外の加筆・修正は認めません。2校以降は、著者校正に基づき、編集委員会が行います。刷上りが著者校正と異なった場合のみ、請求により次号に正誤表を掲載します。
- 4) 掲載原稿の著作権は本学会に帰属するものとさせていただきます。
- 5) 掲載料（組版・印刷代）は、制限頁数以内を学会で負担します。超過した場合には、1頁につき10,000円をお支払いいただきます。超過分の掲載料は、掲載後、請求にしたがい下記口座に払い込んで下さい。別刷り料金は下記のとおりです。別刷り料金も下記口座へお支払下さい。また、海外の場合は、別途送料をいただきます。

ゆうちょ銀行 郵便振替口座番号 00500-9-44161 加入者名 日本健康教育学会事務局

日本健康教育学会誌 別刷り料金表 (税抜)

本文頁	50部	100部	150部	200部	50部増ごとに
1～4	3,000円	5,000円	7,000円	9,000円	+3,000円
5～8	3,500円	6,000円	8,000円	10,000円	+3,000円
9～12	4,000円	7,000円	9,000円	12,000円	+3,000円
4ページ増につき	+1,000円	+1,000円	+1,000円	+1,000円	

※送料・梱包料は実費をご請求 ※表紙代は1部につき、20円
 ※500部以上の価格は、別途お問い合わせください。

- 6) 投稿いただいた原稿は、原則として返却しません。
- 7) 学会誌への投稿や、学会誌編集に関する問い合わせは、学会事務局あてにお願いします。

執筆要領

編集委員会

2012年4月13日改正

1. 論文の構成 ※英文論文の執筆要領は、本学会ホームページ上の Submission Instructions を参照下さい。

論文の構成は、原則として表1の通りとします。ただし、「論壇」「総説」「実践報告」「特別報告」「コメンタリー」「その他」の原稿の本文はこれにしたがう必要はありません。「実践報告」の本文の構成は、表2を参照下さい。

和文抄録は600字以内で作成して下さい。「原著」および「短報」の抄録は、目的・方法・結果・結論の項目で、内容をまとめてください。しかし、「総説」「実践報告」「特別報告」はこれに従う必要はありません。「実践報告」は、本文にあわせて、目的・事業／活動内容・事業／活動評価・今後の課題というまとめ方でも構いません。「論壇」「特別報告」「コメンタリー」「その他」の原稿には、抄録は必要ありません。また、「コメンタリー」「その他」の文献は、5つまでとします。

英文抄録は採用の通知を受けた後、プロによる英文編集を受けてから、最終原稿とともに速やかに編集事務局に提出して下さい。英文抄録は「総説」「原著」「短報」「実践報告」に必要であり、字数制限は250 words 以内です。ただし、英文タイトル、著者英語名はすべての原稿において必要です。

2. 原稿作成上の注意

1) 本文は、A4判横書き（用紙は縦）で1頁あたり22字×39行とします（余白を上下各20ミリ、左右各60ミリに設定して下さい）。執筆にあたっては和文原稿は明朝体、10.5ポイントで作成して下さい。英文抄録はダブルスペース、フォントはTimes New Roman、12ポイントで作成して下さい。

2) 表紙から文献まで通し頁および通し行番号をつけて下さい。

3) 英文は、必ず英文編集業者か英語が母国語の専門家による校閲を受けて下さい。

4) 数字は算用数字を用い、数字・英字は半角として下さい。

5) 図、表、写真は、1頁に1つとし、図1、表1、写真1などの通し番号をつけてください。また、本文の欄外に、それぞれの挿入位置を指定して下さい。

6) 図や表を引用・転載した場合には、投稿前に著作権者の許諾を得て、図や表の下に出典を明示して下さい。

7) 本文中での文献引用は、引用順に、右上付き文字を用い、¹⁾あるいは^{1,2), 2,5-7)}などの番号で示して下さい。またコンマやピリオドがある時はその前に数字を表記して下さい（例：…である^{1,2)}。）

8) 文献の記載は下記のとおりとします。

※著者などが複数の場合は、3人目までは全員を記載し、4人目以降は省略して「○○○○, 他。」または「XXXXXXXX, et al.」として下さい。雑誌名を省略する場合は、医学中央雑誌収録雑誌略名表、MEDLINEなどで確認し、定められた雑誌略称を使って下さい。

また引用文献記載において、コロンやセミコロンの後は半角スペースを空け、ハイフンも半角を使って下さい。なお日本語文献は全角のコロン、セミコロンでスペースなしとして下さい。

① 雑誌の場合

・宮坂忠夫. 健康教育の変遷・現状・今後の課題. 保健の科学 2000;42:508-513.

表1 論文の構成

項目	内容
投稿票	投稿日, 原稿種類, タイトル, 英文タイトル, 著者名, 著者英語名, 表紙から文献までの頁数, 図・表・写真, それぞれの枚数, 責任著者の連絡先(住所, 氏名, 電話, FAX, E-mail)を, A4判1枚に記載して下さい。(様式はホームページよりダウンロードすることができます)
表紙	原稿の種類 タイトル 短く, しかも内容を表して下さい。 著者名 著者全員の氏名。 所属名 著者全員の所属。(右上付き文字で*1,*2を使い, 著者名と対応させて下さい) 抄録 600字以内。(目的・方法・結果・結論でまとめる。ただし, 実践報告は, 本文にあわせて, 目的・事業/活動内容・事業/活動評価・今後の課題というまとめ方でもよい)
紙	キーワード 3~5個。(原則として MeSH キーワードを使用) 連絡先 責任著者の住所・氏名のほか, 希望により電話・FAX・E-mailも掲載可。 ランニングタイトル 主タイトルが25字を超える場合は, 25字以内のランニングタイトル。
本文	I 緒言(はじめに, など) 背景と目的。 II 方法(対象と方法, など) 対象と方法。倫理的配慮に関しても記述して下さい。 III 結果 結果は, 図・表などを使いわかりやすく示して下さい。 IV 考察 論理的に矛盾や飛躍がないようまとめて下さい。 V 結語(結論, おわりに, 等) 結論。(省略可) 謝辞 (必要な場合) 利益相反 利益相反に該当しない場合でも, その旨を記載して下さい。(例:利益相反に相当する事項はない) 文献 以下に示す執筆要領の7)~8)にしたがい, 引用順に示して下さい。
図・表・写真	1頁に1枚ずつ作成して下さい。図は, 原則として, そのまま掲載できる明瞭なものとして下さい。(タイトルは, 図と写真は下, 表は上に掲載。表では縦罫線を使いません)
※「総説」「原著」「短報」「実践報告」は, 採用の通知を受けた後, プロによる英文編集を受けてから, 最終原稿とともに英文抄録を提出して下さい。	
英文抄録	英文タイトル タイトルの英訳。(文頭の単語のみ大文字使用) 著者英語名 著者全員の氏名の英文。 所属英語名 著者全員の所属の英文。(右上付き文字で*1,*2を使い, 著者名と対応させて下さい) 抄録 和文抄録の英訳。英文 250 words 以内。 キーワード キーワードの英訳。(原則として小文字使用)

表2 「実践報告」の本文の構成

本文	I 目的 事業や実践活動の目的。 II 事業/活動内容 事業や実践活動内容の説明, 倫理的配慮に関しても記述して下さい。 III 事業/活動評価 事業や実践活動の結果やそこから得られた成果等。 IV 今後の課題 実践の結果, 次に行う際の注意点や今後似たような活動をする人たちへのアドバイス等。
文	謝辞 (必要な場合) 利益相反 利益相反に該当しない場合でも, その旨を記載して下さい。(例:利益相反に相当する事項はない) 文献 以下に示す執筆要領の7)~8)にしたがい, 引用順に示して下さい。

- ・ Yoshimura N, Jimba M, Poudel KC, et al. Health promoting schools in urban, semi-urban and rural Lao PDR. *Health Promot Int* 2009; 24: 166–176.
 - ② 単行書の場合
 - ・ 松下 拡. 健康問題の構造とその実態の把握. 久常節子, 島内節編. 健康教育と学習. 東京: 医学書院, 1994: 14–54.
 - ・ Green LW, Kreuter MW, Deeds SG, et al. *Health education planning*. Palo Alto: Mayfield Publishing, 1980: 18–32.
 - ③ 訳書の場合
 - ・ グリーン LW, クロイター MW. 神馬征峰訳. 実践ヘルスプロモーション—PRECEDE-PROCEEDモデルによる企画と評価. 東京: 医学書院, 2005: 10–18.
 - ④ 同一文献の別の頁を引用する場合
 - ・ 川田智恵子. 前掲書3): 52–64.
 - ⑤ ホームページ, インターネットウェブサイトからの引用については引用内容が明確に記載されている URL を示し, アクセスした年月日を () 内に記載します.
書籍とウェブサイト双方に同一の引用文献がある場合は, 書籍を優先引用文献とします.
ウェブサイトから引用する場合
 - ・ 厚生労働省. 健康日本21. http://www1.mhlw.go.jp/topics/kenko21_11/sOf.html (2008年12月30日にアクセス).
- 9) 統計解析の記述の方法については「統計データ・記載方法等に関するガイドライン」(ホームページからダウンロードが可能です)に基づき定められた方法で記載して下さい。